

研究種別	総理研課題	
研究課題名	富士山噴火の減災に資する実験教材の開発	
研究期間	令和4年度 ～ 令和6年度	
	評価項目	平均点
1	研究計画の進捗度及び 今後の研究計画の妥当性	3.6
[評価所見]		
<p>○すでに実験教材が作製されているなど、概ね計画通りか、それ以上に進捗している。</p> <p>○教材作りだけならプロがいるが、教材作りにとどまらないところが本研究の目的であると思う。何を最終目的にするのか再確認が必要である。</p> <p>○教育関係者や共同研究者との連携・情報共有がうまく取れている。教育現場の声を反映しつつ研究が進められ、従来教科の内容との整合性を意識した実験授業が行われている。マスコミなどへの発信が随時なされている。</p> <p>○防災・減災教育の模範になる教育現場向けのシステムに期待している。研究成果を実用化するための実験教材の更なる改良、魅力向上、効果検証等を持続する補完研究に期待する。</p> <p>○防災・減災の意識向上のため、本研究の進捗と早期公表を期待する。動画などにまとめることも考えてほしい。研究期間中および終了後、できるだけ早く実際の教育カリキュラムに組み込まれるようにしていただきたい。</p>		